



3スポークホイールは、ヨーロッパ・エクステリアメイクのドレスアップアイテムの中で、今最も注目されているデザインのひとつだ。

ヨーロッパ・ドレスアップでの3スポークホイールの見せどころは……まあ、これほど分かりやすいものはないので力み返って書くこともないと思うけど、そう、スポークそれ自体の仕上げ方だね。

なにしろ3本しかスポークがないんだから、細い太い変化をつけるとして自ずとその範囲には限りがあるし、ワンピースならなおのことだ。だからスポーク自体のデザインから、3本でひとつのような、全体のカタチで見せるデザイン傾向になるってわけだ。今流行りつつある3スポークはいずれもこの手法でデザインされていると言っていると思う。じゃあ、ホイール面全

体で見せるということはどういうことなのかというと、ちょっと強引な言い方をすれば、3スポークホイールは開口面の極端に大きなディッシュホイールと言えらると思う。ディッシュと考えば、3スポークがヨーロッパ・スポーツセダンにハマるのも納得がいくでしょ？

それもあるって、この手の3スポークをスポーティ・クーペに合わせるのは

ちょっとツラいかなと思ってたんだけど、ここにきて3スポークとディッシュの近似性をデザインに取り入れた、レーシーな3スポークホイールがトライアルプロジェクトから登場した。

。トライフォース・ゼルダは、強靱なイメージの3本のスポーク面に超ディープなリムを組み合わせた、スバルタンをデザインのビッグサイズ・ホイール。スポーツやサーキットといった

COPY・永田トモオ PHOTO・ウイズ・フォト

DRESS UP GEAR ON STAGE
TRY FORCE ZELDA

ダイレクトにレーシーさを主張する、
新たな3本スポーク登場



SIZE	PCD	OFF SET	HOLE	PRICE (万円)
8×17	114.3	14/22/35/40/45	8/10	5.5
9×17	114.3	14/22/35/40/45	8/10	5.7
10×17	114.3	14/22/35/40/45	8/10	5.9

☎ トライアルプロジェクト 0722-54-9777

言葉がよく似合う、3スポークに仕上げられている。

本格チューナーとして定評のあるトライアルだけに、デザイン面はかりてはなくむしろ性能面でもかなり煮詰められているようで、3スポークデザインには、ブレーキまわりの放熱効果やブレーキパッド残量の確認の容易性といった実用的な意味合いも含まれている。スカイラインやスーブラなどのビッグキャリパーへの対応もOKで、こういう部分はさすがにチューニングブランドらしいところだ。まずは17インチからリリースということで、曲面デザインのケイリスをスポーティカー、RX-7やスーブラなんかに合わせてみたいね。オーソドックスな組み合わせだけど、ブラックボディにゴールドのホイールなんて、かなり強力にハマるはずだろ。